2018
4・15
No.1364

広報 まつやま

一人でも多くの人を笑顔に　幸せ実感都市 まつやま

俳都松山 今月の俳句

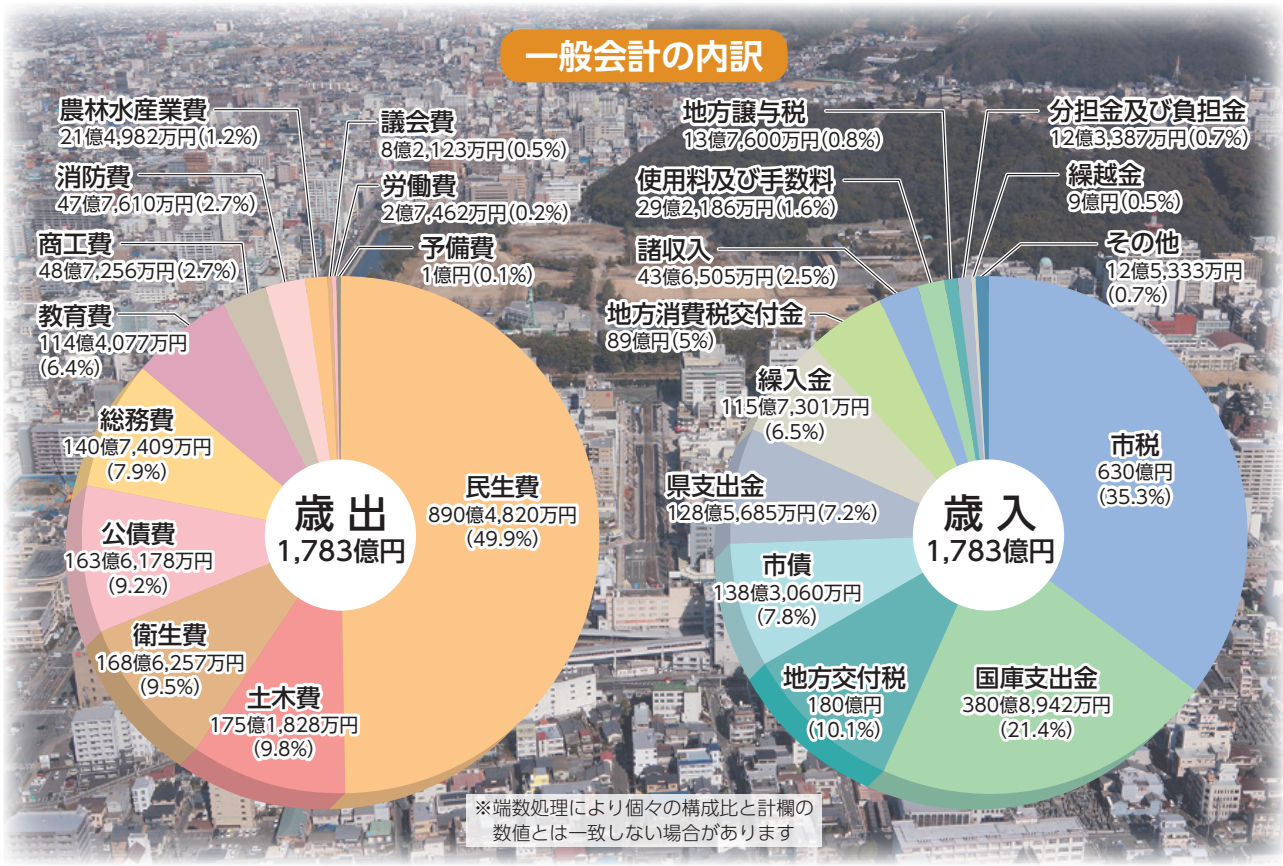
Haiku Capital Matsuyama

髪洗う姉のお下がり
脱ぎ捨てて

松本梓紗　和歌山県立桐蔭高等学校
第20回 俳句甲子園　優秀賞（平成29年）

平成30年度当初予算
総額3755億980万円
公約・地方創生の実現で「幸せ」を実感できるまちづくりを

本市の平成30年度当初予算が3月定例市議会で決まりました。総額は3755億980万円。一般会計は1783億円で、前年度に比べ1・05㌽の減ですが、平成29年度の特殊要因であるえひめ国体関係経費を除くと4億4000万円の増となっています。第6次市総合計画に掲げる将来都市像「人が集い　笑顔広がる　幸せ実感都市 まつやま」はもちろん、公約や地方創生の実現に向けて、現地・現場、市民一人ひとりの声を大切に、笑顔の先にある「幸せ」を市民が実感できるまちづくりを目指します。（2～4面に関連記事）



一般会計

【歳出】歳出の主なものでは、民生費の約890億円（対前年度比0・15㌽減）がトップで、待機児童対策・保育の質向上や児童クラブの運営充実など子育て環境の充実、超高齢社会への対応などに取り組みます。次いで土木費の約175億円（同0・61㌽減）、衛生費の約169億円、公債費の約164億円などとなっています。

【歳入】歳入の主なものでは、市税の630億円（対前年度比1・61㌽増）で、次いで国庫支出金の約381億円（同0・06㌽減）、地方交付税の180億円（同2・70㌽減）と続いています。

特別会計

国保会計が525億円、介護保険会計が約485億円、競輪会計が約176億円、後期高齢者医療会計が約62億円などとなっています。

企業会計

下水道会計が約295億円、水道会計が約167億円、工業用水道会計が約18億円、簡易水道会計が約5億円となっています。

当初予算の内訳

予算区分	予算額	対前年度比	
		増減額	伸び率
一般会計	1,783億円	△19億円 ※えひめ国体関係経費を除くと4.4億円増	△1.05%
特別会計	1,278億8,780万円	△116億2,130万円	△8.33%
企業会計	485億4,780万円	4億2,472万円	0.88%
合計	3,547億3,560万円	△130億9,658万円	△3.56%
公債管理会計	207億7,420万円	△6億2,220万円	△2.91%
総額	3,755億980万円	△137億1,878万円	△3.52%

市長所信表明（要旨）

国内の経済は、緩やかな回復が続くことが期待される状況の中、平成30年度の国の地方財政への対応は、地方の一般財源総額に、地方税収の増を見込むなど平成29年度を上回る水準が確保されています。本市でも経済は緩やかな回復基調にあり、市税収入も一定堅調に推移する見通しである一方、社会保障関係経費の自然増や公共施設の老朽更新などで財政需要が増加し、子育て・教育環境の充実や防災・減災対策、地方創生の実現に向けた取り組みなど重要な課題への的確な対応が求められ、今後も厳しい財政運営が見込まれています。

こうした状況だからこそ、「知恵」と「工夫」と「連携」をはじめ、常に前向きに「挑む」気持ちで、市民の皆さんが、「愛着」と「誇り」を持ち、いきいきと笑顔で暮らせる活力とにぎわいに満ちたまちの実現に向け、「一所懸命」挑んでいきます。

平成30年度予算編成では、ゼロベースでの事業総点検で財源を捻出し、主要施策に有効活用するなど、持続可能な財政運営を堅持するとともに、「幸約（こうやく）」（公約）の実現を力強く推進することとし、特に3つの分野に重点的に取り組むことにしています。

私は、地域で育まれ、これまで受け継がれてきたまちの個性や魅力といった「地域の宝」にさらに磨きをかけ、全国から選ばれるまちであり続けられるよう、引き続き、松山の強みを生かした施策を進めます。そして、100年先も輝けるまちとして、次の世代に確実に引き継いでいくために、「現地・現場を大切に」、「市民目線を大切に」、一人ひとりの声に真摯（しんし）に耳を傾け、誠実に、ひたむきに、市政運営にまい進していきます。

3月定例市議会で所信を表明する野志市長

主な内容

■平成30年度当初予算関連……2・3・4面
■市議会議員選挙……6面
■木造住宅の耐震診断・耐震改修事業……5面
■市民ガイド……7～11面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日発刊
☎948-6705　FAX934-2578
HPhttp://www.city.matsuyama.ehime.jp/

保存してください。いつかまた　お役に立ちます